

みんなで創ろう
安心した街づくり



発行：内田小学校区小域福祉ネットワーク

『お知らせ』

内田小学校区
小域福祉ネットワーク
会長 小出 完爾

(一) 大地震が発生したら

高齢化が進み、少人数世帯が多く
なっている内田地区町会の人々の安
心への方策として、町会で決めた取
り敢えずの一時の避難場所として、
近所を目安に「一時避難場所」が決
められています。

そこには、およそ10世帯位を目安
に近所の世帯でまとめてあります。
そして、独居高齢世帯と日中高齢
世帯には、「大丈夫かい」と訪ねる
人も決められています。時々は自
分の役割を確認しておいて下さい。

もしも自分の家族の一時避難場所
が判りませんでしたらば、町会長に
聞いて下さい。

(二) お互い様の支え合いで、 安全確認を進めましょう。

巨大地震の発生時に安否を共有する
関係にあります。したがって、
日常の暮らしの中でも是非、独居高
齢世帯へ様子を見る生活をして下さ
いますようお願いいたします。

小域福祉ネットワーク 活動報告

二〇二一年度は新型コロナウイルス
の感染への恐怖に晒され、内田小
学校区小域福祉ネットワーク活動も

成果らしいものはありませんでし
た。

福祉活動は、内田地区もそうす
が福祉活動のエンジンは、活動する
人々の思いを共有する協議など、会
議が重要です。このことは奉仕活動
に取組む団体などでは要のところ
であり、内田地区の結果も、ここに由
来しているものと思っております。
このような状況にあります。二〇二〇年度の活動について報告しま

《地域》

内田地区では「向こう三軒両隣(近
所)の仕組み」というテーマの基に
(一)大地震の発生時の身の安全へ
の一時避難の方策と、独居・日中独
居高齢世帯の安全確認の推進につ

て
(二)一時避難場所に避難する世帯
を一つのグループとして、そのグ
ループを単位に普段の暮らしの中
の安全確認を行うことについて
この二つの行動方策は、各町会の
みなさんへの周知によって進めてい
るものであります。

なお、南総地区社会福祉協議会
も「向こう三軒両隣の見守り」とい
うテーマで、内田地区の「近所の仕
組み」をなぞった形で見守りの実施
を進めております。
前述(一)、(二)は「向こう三軒
両隣(近所)の仕組み」で、その1
点が地震発生時の身の安全の確保策
であります。

※町会の皆様の一人一人が自分が
自分がこの一時避難場所に行くべ
きか、判りませんでしたら、町会長
に聞いて下さい。
2点が南総地区社協が進めている
「向こう三軒両隣の見守り」も「近所」
単位に進めるもので、内田地区では
一時避難場所の世帯をグループとし
て、お互い様の見守りを行うもので
す。進めて下さい。

《高齢者》

この部会では茶話会の開催や独居
世帯の把握や見守りを行っています。

しかし、茶話会
は実施できません
でした。

今後は新型コロナ
ウイルスの恐怖
が薄らぎ止みまし
たら、開催できる
ように考えます。



《子ども(子育て)》

この部会は、子どもの成長を見守
るもので、学校支援として川遊びや
ザリガニ釣り、昔の子供の遊びの方
紹介などを行って来ました。

また直接的な見守りとして、毎木
曜日に下校時の見守りを行っており
ますが、最近の状況は、保護者によ
る自家用車での迎えが実態で、見守
るといふことは無くなっております。
この他、広報として「うちだ」の
発行を行っています。

二〇二一年の内田地区は、小学校
が閉校され、環境が変わります。
地区として、新たな知恵も必要と
なります。



内田小学校区小域福祉ネットワーク
会長より報告

地域を守るしくみ

私達が暮らしているこの地域をど
う守るか、このことに対しては、町
会の美化活動の一貫として昔から
行っている道普請や道路側面の草刈
など、各町会でやってきており、地
域の維持に役立っております。

しかし、内田地区は高齢化が進み
少人数世帯も多く、しかも田畑は耕
作されている面積をはるかに超えて
いるかと思えるほど荒地も多く、竹
藪化も進んでいる。

こんな様子もある中でも、この地
域を見ている安全への目は、様々な
行動によってその改善に取り組み
ておられますので、ここに紹介した
位は経つのかと思いますが、その様
子は、住宅地として十分整った姿で
あります。

しかし区画空地の中には、大谷石
の擁壁の上部を地茅の根によって浮
き上がり、落下も見られます。
ここに穴太衆のような方法で浮き
気味になった大谷石を積み直し、石
の安定に自然石を挟み込む。石と石
の縦目地にはセメントで固めている。
穴太衆はお二人でしたが、住んで
いる団地を守るといふ地域愛を見た
気持でした。

(三) 杉林の里道、大風の明日は日常 どおり

石川の村道の市道から山を登り富
土台に抜ける杉林の市道があり、こ
の道は大風が吹くと道一面に杉の枯
葉に被われ足の踏み場がありません。
しかし、この枯葉は何日の間にか、
きれいになくなっています。
多分貝吹さん達の、その度の動
きに由来したものと思いますが、本
当に有難いことです。

(3) 結接点を守る

前(2)項のこの市道の石川地区の結接のところは、藪が道にせまり、ここを刈り込まなければ軽自動車も通貨しにくくなるところを、小坂洋史さんによって刈り整えられ、そのお蔭もあってか、消防自動車も通過できるなど、役立っています。

(4) 安全確保の大仕事

うぐいすラインから石川に行く市道は、大蔵団地から鶴舞へ抜けられることから、里道の様子が、道路に被さる木々、は藤や鳶のつるにからまったまま垂れるなど、気になっていた

『元気があれば何でもできる』コロナに負けるな

内田小学校 校長 仁科 俊

今年度はまさにコロナウイルスに振り回され、辛抱の一年であつたと言えると思います。マスクをする事、手指を消毒する事、毎身体温を測る事などが当たり前の日常となり、世の中が一変してしまいました。しかし、その中でも変わらない事があることにも気づきました。毎日見せてくれる子供達の笑顔や笑い声、地域の方々の温かい声かけや学校に対しての協力など本当に感謝の気持ちで一杯です。まだ終わりの見えないコロナウイルスとの闘いですが、その中でも変わらな大切なものをいくつも見つける事ができ、元気をいただきました。「元気があれば何でもできる」私の大好きなフロレスラーの口癖ですが本当にそうだと思います。内田地区の皆様さんと元気を共有しこの困難を乗り切っていければと思っております。残念ながら内田小学校

人は少なくなかつたと思う。ここに長尺の梯子をかけ、この枝を切り落とすという凄技で改善し、安全を確保するという仕事をされた方が貝瀬さんのお二人です。この作業は、固唾を飲むようなことで、恐れいります。誰でもできるような仕事ではありませんし危険も伴います。今日、地域をどう守るか、これぞという方策はありませんが、付近に住む人達の身に付してみて、その後のことにすれば、今日、地域をどう守るか、これも方策であると思います。(小出 完爾)

全校通定

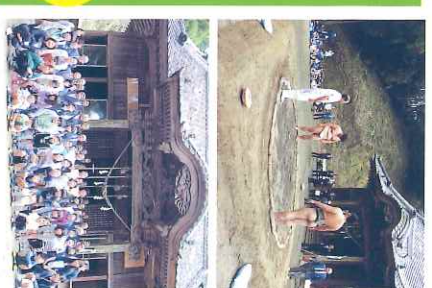
は千葉日報にも載りました。子ども達、笑顔で一杯の一日となりました。



この様子をご紹介いたします。関係者の皆さん本当にありがとうございました。来年度の牛久小との統合を見据えて、合同で持久走記録会を行いました。初めてのコースで子ども達は不安がっていました。最初は「楽しい」など子ども達はどうどろになるのも忘れて我先にと土を掘り起こしていました。



全校手掘り



形は変わっても残していただろうと思っています。

牛久小・内田小 合同持久走記録会



のですが、今年は休校であつたため行う事ができていませんでした。「今年は無理だね。最後の年なのに残念だよな。」というようなあきrame気分の中なんと、米沢の森を守る会の方々のご協力により、行う事ができるといふ事になりました。職員一同感謝申し上げます。春に行うのと違って少し寒い中での遠足でしたが、子ども達はおいしいお弁当を食べ、元気にいっぱい活動していました。子ども達のために歩く道を整備していただくなど、本当にありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。



来年度の牛久小との統合を見据えて、合同で持久走記録会を行いました。初めてのコースで子ども達は不安がっていました。最初は「楽しい」など子ども達はどうどろになるのも忘れて我先にと土を掘り起こしていました。成す。「こんなに大きいのがとれたい出の一つとなつた事と思います子ども達にとつて素晴らしい思い出になりました。初めてのコースで子ども達は不安がっていました。最初は「楽しい」など子ども達はどうどろになるのも忘れて我先にと土を掘り起こしていました。

ナウイリスの猛威は収まりませんが、きつことこの困難を糧に収束した後は今以上の素晴らしい未来が待っていると思います。そう信じて内田地区の皆様と強い絆を築いていければと思っております。

編集後記

内田小学校が今年の三月をもって閉校となります。内田地区の児童の学び舎であり内田地区のコミュニティの場がなくなることはさびしいものがあると思います。昨年からの猛威をふりつる新型コロナウイルスは、まだまだ衰える気配がありません。この新型コロナウイルス状況下で、今年度の小域福祉ネットワーク事業や活動も休みを余儀なくされなりました。来年度こそ新型コロナウイルスが収まり事業活動が行われることを願うのみです。(Y)



内田小学校の航空写真撮影日の風景
撮影:小出 昇さん(宿)